



「生きてるだけで丸儲け」

校長 池田 和幸

表題に記した言葉は、ある有名人の座右の銘として知られている言葉です。そうです。明石家さんまさんです。若い頃から売れっ子芸人として活躍し、69歳を迎えた現在もテレビやラジオのレギュラー番組を数多く担当しバラエティ番組の第一線で活躍している方です。お嬢様のお名前はこの座右の銘から名付けたというのも有名な話だと思います。明石家さんまさんがいつ頃からこの言葉を座右の銘としたのかについては定かではありませんが、昭和60年の群馬県御巣鷹山で起こった日本航空機の墜落事故の日に、墜落した123便に搭乗予定だったところ、仕事早く終わり搭乗する便を1便早めたことで、九死に一生を得たというエピソードをおもちだそうです。生と死が自分の意思とは関係ないところで決まってしまうことが多くある、生きていられることそれ自体が素晴らしいことだという思いがこの言葉の根底にはあると思います。

8月のパリオリンピック開催期間中、ある芸能人のSNSの発言が炎上し、活動自粛に追い込まれるという事件がありました。その発端となったのは、やす子さんという芸能人のX(旧Twitter)の「やす子オリンピック 生きてるだけで偉いので皆優勝で一す」という発信に対して、不適切な言葉をつけて引用リポストをしたことでした。炎上したことで不適切なポストは削除され、謝罪ポストの発信と活動の自粛に至ったというのが大まかないきさつです。不適切な発言をした方には、あまりにもひどい言葉だったのでしっかり反省をしてもらいたいと思っています。しかし、その発端となった「生きてるだけで偉いので皆優勝で一す」という発信を見たときに、表題の明石家さんまさんの座右の銘が改めて思い返され、生きることの素晴らしさを改めて考え直したいと思いました。

「四苦八苦」という言葉があります。元々は仏教の教えにある言葉が、四文字熟語として日本語に定着した言葉です。仏教の教えにある四苦とは、「生」「老」「病」「死」の生きていく上での四つの苦しみ、八苦とは「愛別離苦(あいべつりく)」「怨憎会苦(おんぞうえく)」「求不得苦(ぐふとっく)」「五蘊盛苦(ごうんじょうく)」の人間として生じる4つの苦しみを加えたものを指します。仏教の考え方として、この世に生まれたこと、生きることも一つの苦しみと捉えています。年齢を重ねれば老いる苦しみがあり、病にかかる苦しみがあり、命がつきて死ぬ苦しみがあり、

命つきるまで苦しみと隣り合わせであると仏教では考えています。「愛別離苦」とは愛するものといずれ離れなければならない苦しみ、「怨憎会苦」とは恨み憎む人と出会う苦しみ、「求不得苦」は求めたものが得られない苦しみ、「五蘊盛苦」は自分の心や身体が思い通りにならない苦しみのことを指し、四苦八苦とは、人間が生きていると避けることができない根源的な苦しみがあると仏教は考えています。やす子さんの「生きてるだけで偉いので皆優勝で一す」という言葉には、どんな人でも様々な苦しみを抱えて生きている、生きているだけでも素晴らしいという思いが込められているのではないかと感じました。

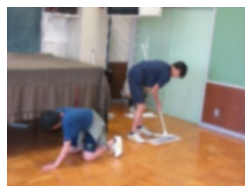
生きることの苦しさがあることも間違いありませんが、生きているからこそその素晴らしさというものも存在するのではないのでしょうか。苦しさを味わうことがあるからこそ、喜びや楽しさを一層強く感じられる面があるのだと思います。パリオリンピックでは、52kg級銅メダリストの阿部詩選手の敗戦が大きく注目を集めることとなりましたが、柔道女子48kg級金メダリストの角田夏実選手は元々阿部選手と同じ52kg級の選手として活躍していました。前回東京オリンピックの直前に階級変更し、東京オリンピックの出場を目指しましたが、国内の選考大会で負けたため出場はかないませんでした。その苦労と努力があつての金メダル。そこに至るまでの道のりの中で、私たちが想像しきれない様々な思いがあることは間違いありません。このような超一流選手の姿を見て、私たちは勇気づけられたり、感動することができたりしています。同じ思いとは言えないかもしれませんが、私たちも一緒に喜ぶことができます。これも私たちが生きているからこそ、喜びや感動を味わうことができるのであり、まさに表題の明石家さんまさんの座右の銘「生きてるだけで丸儲け」ではないかと思います。

中学生はまだ人生の入り口付近です。これからの未来にきっと様々な苦しみや悲しみに出会うことがあると思います。その苦しみや悲しみ以上の喜びや感動に出会うことができると思います。いまここに生きている自分自身の存在をかけがえのないものとして、大切にしてほしいと思います。杉並区では9月・10月は「いのちの教育月間」として、いのちの大切さについて考える月をしています。天沼中でも様々な取組を通してかけがえのない自他の命を大切にしようとする心を育んでいきたいと思っています。

土日を含めた 44 日間の長い夏休みも終わり、いよいよ新学期が始まります。生徒達は皆、夏休み中に様々な経験を経て一回り大きくなっていることと思います。夏休み中は学校でも四者研修会や廊下・教室のワックスがけ、教員研修、教室の電子黒板の整備など様々な取組がありました。夏休み前後の取組について以下に紹介します。

1 学期大掃除 7/18

1 学期最後の行事は全校で取り組む大掃除でした。「自分たちの使った校舎を自分たちの手できれいにする。」当たり前のことですが、それを一生懸命にできるのが天中生です。教室だけでなく昇降口や特別教室まで、一人ひとりが丁寧に頑張っていました。生徒のみなさんのおかげで気持ちの良い夏休みを迎えることができました。



四者（保護者・CS・支援本部・教員）合同研修会 7/19

今年度も四者が集まる合同研修会が開催されました。明星大学の教育学部教育学科、今野貴之教授を講師として「AI と教育-中学校・高等学校の教育を変革する生成 AI の活用について」をテーマに研修を行いました。様々な生成 AI のサイトを紹介してもらい、実際に体験を行いながら、生成 AI を授業でどう利用するかだけではなく、日々の基礎的な学習や考え方、情報の取り扱い方などを通した情報活用能力の育成・重要性について話し合いました。



夏休み学習教室・自学自習教室 7/22~24

「基礎基本」を学ぶ夏休み学習教室と、主体的に学習する自学自習教室を開催しました。基礎基本コースでは、本校の元主幹教諭の河西雅宣先生と英語科の齊藤京子先生の他に、大学生や本校を卒業した高校生のボランティアも参加してくれて国数英の丁寧な指導をお願いしました。自学自習教室では自分の用意してきた課題に集中して取り組む生徒の姿が見られました。



各学級オンライン学活 8/27

今年も夏季休業中のオンライン学活を行いました。新型コロナウイルス感染症の流行期間は、リモートやオンラインでの活動が活発に行われましたが、その経験を忘れずに今後も積極的に ICT を活用していくことが大切です。先生方も久しぶりに生徒の顔が見られると嬉しそうでした。部活動を行っている生徒の中には教室でオンラインに参加する生徒もあり、久しぶりの再会を楽しんでいました。また、各教室に電子黒板が導入されました。写真は電子黒板を使ってオンライン学活を行っている様子です。



地教推講演会 8/27

天沼中学校区地域教育推進協議会（地教推）主催による講演会を天沼中学校視聴覚室で行いました。杉並区教育委員会事務局学校支援課長（社会教育主事）の中曽根聡様を講師に迎え、「地教推の歴史とこれから」について講演していただきました。講演会には様々な地域の方々に来ていただき、社会教育の一環として地域教育を今後どのように推進していくべきかグループディスカッションも行いました。



教職員研修【道徳】 8/30

池田校長先生を講師として教員対象に道徳の研修を行いました。道徳の授業の目的や授業を行う上でのポイントについて講義を聞き、よりよく生きるとはどういうことかについて考えを深めました。道徳の時間は人間としてどのように生きていくかを考える時間であるという認識のもと、実際の教材を用いて発問の仕方や追加発問の重要性について話し合いました。



7・8月に行われたレスキュー・ボランティア活動

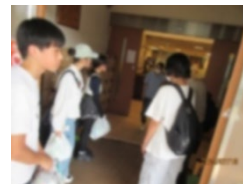
○杉並区レスキュー隊発足式・第1回合同訓練(7月17日)

今年度の天沼中学校のレスキュー隊人数は54名。その中から代表として1年生3名が杉並区レスキュー隊発足式に参加しました。杉並区役所に各学校から代表者3名が集まり、発足式後は第1回訓練としてAEDを利用した心肺蘇生法(CPR)や初期消火訓練、震災時のガスの復旧訓練などを行いました。



○エコキャップ活動(7月18日)

エコキャップ運動は地域のペットボトルキャップを天中生が回収し、リサイクル業者に渡すことで発展途上国へのワクチン購入資金として寄付を行う運動です。今年度も生徒会と地教推が会議を行い、第1回目の活動を行いました。生徒会役員7名に有志の生徒9名が加わり、地域の方々と一緒に校外を回りながらペットボトルキャップの回収を行いました。



○わかば祭り(7月20日)

杉並区立重症心身障碍児通所施設わかばの行うわかば祭りのボランティアスタッフとして9名の生徒がわかば祭りに参加しました。当日は旧若杉小体育館に集まり、施設の方や他のボランティアスタッフと協力しながら出店やイベントのお手伝いを行ないました。積極的に自分からコミュニケーションをとらなければいけない内容に最初は戸惑っている様子もありましたが、だんだんと慣れて自分から話しかけにいく姿が見られるようになりました。



ボランティアの生徒募集について

○社会を明るくする運動 10月3日(木) 16:00～

JR 荻窪駅前にてティッシュ配りなどを行います。参加者募集中です。(9月5日まで)

○ふれあい運動会中学生ボランティア 10月12日(土) 9:00～12:30

蚕糸の森公園運動場で障害をもつ方々とふれあう運動会の運営ボランティアを行います。

また、一緒に競技に参加することもあります。プリント参照(9月13日まで)

○たのしさバクハツ!天沼まつり 10月14日(月・祝) PM

ステージ部門出場者→吹奏楽部がステージ演奏を行ってくれます。頑張ってください。

運営ボランティア→ゲームコーナーや運営の手伝い、参加募集中です。(9月12日まで)

○赤い羽根募金ボランティア 10月15日(火) 16:00～

始業式で生徒会が説明したボランティアです。JR 荻窪駅前にて行います。(9月13日まで)

○レスキュー隊活動 天沼地区8町会合同防災訓練 9月28日(土) 13:00～17:00

天沼小学校で行う町会の防災訓練です。レスキュー隊のみなさんはぜひ参加してください。

2 学期より着任した教員の紹介

いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、以前より3年生の保護者の皆様にはお伝えしておりましたが、第3学年副担任・数学科教諭 高橋 理之 ですが、8月より育児休業となりました。

また、社会科講師 小林 英樹 ですが、一身上の都合により、退職となりました。

これに伴い、2学期より新たに2人の教員が着任いたしましたのでご紹介します。

数学科 教諭 石井 雅代 (いしい まさよ)	石井先生は、高橋先生の代わりとして第3学年副担任を担当します。 また、1～3学年の数学少人数授業やバスケットボール部顧問も担当します。
社会科 講師 竹谷 玲 (たけや れい)	竹谷先生は第2学年社会を週に2時間担当します。 小林先生の受け持っていた第3学年社会は本校の鈴木敦史主任教諭が担当します。

よろしくお願いいたします。

9月14日(土)道徳地区公開講座を行います

1 校時	各教室授業 ※3 年は体育館で臓器移植に関する授業
2 校時	道徳公開授業 1～3 年 各教室
3 校時	各教室授業 ※保護者・教員・地域 意見交換会

※3校時、生徒は授業を行っていますが、視聴覚室にて保護者や教員、地域の方々による道徳に対する意見交換会を行います。ぜひご参加ください。

7・8月の活動記録

- ・杉並区レスキュー隊発足式・第1回合同訓練参加
- ・エコキャップ活動参加
- ・わかば祭り参加
- ・広島平和学習中学生派遣
- ・サッカー部 杉並区中学校サッカー夏季選手権大会 第5位、第3支部大会出場
- ・卓球部 男子個人 東京都中学校卓球夏季選手権大会 出場
- ・剣道（合同チーム）女子団体 杉並区中学校剣道夏季選手権大会 優勝
女子個人 東京都中学校剣道夏季選手権大会 出場
- ・吹奏楽部 東京都中学生吹奏楽コンクール 銅賞

※【東京都教育委員会児童・生徒等表彰】の推薦について

- ・東京都教育委員会による表彰です。
- ・表彰の対象者は「地道な活動を継続的に行い、他の児童・生徒等の範となる者」や「当該児童・生徒等が自ら学び考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の児童・生徒等の具体的な行動や取組に良い影響を与えた者」です。ただし教育課程外の活動が対象となります。
- ・過去の表彰対象の例としては、学校外の継続した活動（クラブチームや習い事など）において、全国大会等で入賞するとともに、豊かな人間性の向上や努力の過程等が認められた生徒が受賞しています。
※表彰対象となる可能性があり、表彰の推薦を希望する方は、9月20日（金）までに、活動の状況等が分かる資料（コピー）を添えて副校長へご相談ください。